

新作

プロトコルを活用した初めての実践例!

DVD (25分) 価格 21,000円 (税込・送料別)

訪問看護師による医行為の安全な実施のために

訪問看護プロトコルを用いた「たんの吸引」の実際

監修 川村佐和子 (日本訪問看護振興財団・聖隷クリストファー大学)

指導 小倉 朗子 (東京都神経科学総合研究所)

中山 優季 (東京都神経科学総合研究所)

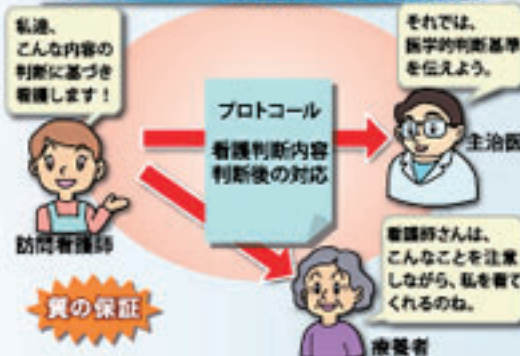
長沢つるよ (東京都神経科学総合研究所)

松田 千春 (東京都神経科学総合研究所)

大竹しのぶ (東京都神経科学総合研究所)

〈対象〉 医師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護職、その他の医療・保健・福祉関係者、在宅療養者、家族、看護学生

プロトコル活用による効果



制作意図

近年の医療施策の動向として、在宅医療の推進、在院日数の短縮化が進められ、在宅療養における医療・看護ニーズが高まっています。また、疾病構造や人口構成の変化によって、重症度や看護度の高い在宅療養者に対する、専門的で質の高い訪問看護サービスが求められるようになってきました。

今日の在宅療養の場では、複数の職種の人々が関わるチーム医療が必要です。チームが円滑かつ効果的に連携するために、看護職が提供するケアを標準化した看護プロトコル(医療処置管理看護プロトコル)が活用されつつあります。

医療処置管理看護プロトコルは、該当する医療処置について経験豊富な看護師の判断技術を、これまでの実践や研究成果などを元に文書化し、看護全体で共有することで、看護の質を保証するツールとなります。

この作品では、プロトコルの理解と活用の一般的な手順、訪問看護プロトコルを使用した在宅での「たんの吸引」の個別的な実際例を検討し、安全でより質の高い看護が提供出来る事をめざします。

企画制作発売 東京シネ・ビデオ株式会社

〒164-0001 東京都中野区中野2-13-21 パールミサト103

TEL (03) 5342-5381 FAX (03) 5342-5384

<https://www.tokyocine-video.co.jp>

Mail: info@tokyocine-video.co.jp

(ご注文はFAXまたはメールにてお願い申し上げます)

訪問看護プロトコルを用いた「たんの吸引」の実際

【主な内容】

1) 町居さんの生活—事例紹介

町居幸治さん（59歳）ALS/筋萎縮性側索硬化症となり、気管切開をして人工呼吸器を装着した在宅生活を始めて8年になる

2) 訪問看護プロトコルの概要

・必要性和効果

川村佐和子先生の解説

3) 町居さんの「たんの吸引」の実際

・通常の安全な吸引方法の手技

4) 訪問看護プロトコルの一般手順と構成

①一般手順

②構成

適用条件 看護支援目標 医療処置に伴う異常・トラブル アセスメント並びに医師への報告基準・判断樹・管理協定書

③適用条件と活用的一般的手順

1 療養者側の条件

2 看護師の条件

3 医師との連携条件

4 緊急時の対応基準

④実践する上での3つ段階

・導入検討段階の判断樹

・維持管理段階の判断樹

・中止・終了段階の判断樹

⑤判断樹の一例と凡例

⑥判断に基づく異常時の医師への報告基準

⑦緊急時対応基準

⑧管理協定書

5) プロトコルを用いた町居さんの「たんの吸引」の実際

・適応条件と連携体制

・医師への報告基準

・緊急時対応基準

①身体症状の変化

顔色や出血、たんの色や性状

吸引回数

②吸引器の異常、故障

呼吸器が正常に作動していない場合の判断樹

③外的環境のトラブル

停電や災害、予備物品の準備

④町居さんの維持管理段階全体の判断樹

⑤痰の性状に異常がある場合の判断樹

⑥痰の粘稠度が上昇した場合の判断樹

⑦問題点の抽出と対応

・外出時、人工鼻装着

・家庭内環境の整備

6) 求められる看護プロトコルの普及と活用

訪問看護技術シリーズII 人工呼吸器装着者の在宅ケア 各巻 25,000円(税込・送料別)

No.3 気道ケアの知識 —基礎と排痰技術— (27分)

No.4 気道ケアの実際 —療養生活と看護支援— (32分)

No.5 安心して療養できる環境をめざして
—退院時指導・療養環境整備とさまざまな療養支援— (34分)

新作

No.6 在宅療養者のQOLの維持と向上のために
—訪問看護と療養通所介護の役割— (30分)